

がんばろう日本

～亀岡市は平成28年(2016年)
熊本地震被災地の
復興を支援します～

January.2017

広報No.645

キラリ 亀岡

編集発行:亀岡市市長公室秘書広報課/〒621-8501 亀岡市安町野々神8番地/☎0771-22-3131(代) ☎0771-24-5501
ホームページ <http://www.city.kameoka.kyoto.jp> 携帯版ホームページ <http://www.city.kameoka.kyoto.jp/m/>
フェイスブック <http://www.facebook.com/kameokacity> 電子メール office@city.kameoka.kyoto.jp

■亀岡市の人口と世帯数

	平成28年 12月9日現在	平成27年 12月11日現在
人口	90,446人	90,978人
内 男	44,060人	44,308人
女	46,386人	46,670人
世帯数	38,498世帯	38,271世帯

主な内容

- 1ページ
市民の皆さまと築く亀岡新時代
- 2・3ページ
新春特別企画
私の好きな「朝霧」の風景
- 4ページ
「亀岡牛」生産者が
農林水産大臣賞を受賞!

など

パラグライダーで馬路町～旭町付近上空を飛ぶ



市民の皆さまと築く 亀岡新時代



謹賀新年
亀岡市長 桂川 孝裕

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい年の初めをすがすがしい気持ちでお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃より市政の推進に深い御理解と御支援をいただき、心から感謝を申し上げます。

私は、平成27年11月の市長就任時、「亀岡新時代」の幕開けを宣言しました。以来、地方行政を取り巻く厳しい状況の中であっても、柔軟な発想と積極的な行動、新しい価値観を持って、昨年4月にスタートしました第4次亀岡市総合計画「夢ビジョン」後期基本計画に基づく各施策を着実に進めているところでです。

昨年、亀岡市にとりまして、未来に向けて大きな舵を取る年となりました。京都府が本市で進める「京都スタジアム(仮称)」の建設施設が、自然との共生を目指して、国の天然記念物アユモドキ保護の観点から当初の計画地を変更し、JR亀岡駅北側の立地に決定いたしました。当地で進む亀岡駅北側地区画整理事業との連携を図る中で、新たに建設されるスタジアムが核となって創出されるにぎわいは、京都府南部と北部を結ぶゲートウェイとして位置する亀岡の新たな魅力として、地域の均衡ある発展に大きく寄与することと確信しております。また、こうした地域の活性化の中で、市民の皆さまと共に考え、汗を流し取り組むまちづくりが、亀岡

の未来を築く新たな礎になっていくことを期待しています。

一方で、昭和30年の市制施行以来、増加を続けてきた本市の人口は、平成12年をピークに減少に転じています。我が国の多くの自治体と同じく、定住促進、少子化対策を進めていくことが喫緊の課題となっています。本市においては、近年、京都第二外環状道路に続き、京都縦貫自動車道の全線開通などの交通アクセスの向上により京阪神都市圏との時間的距離が短縮され、様々な企業の立地が相次ぎ、大きな雇用機会が創出されようとしています。さらに、保津川と里山が織り成す豊かな自然、そこに根付く文化、歴史などは亀岡の大きな魅力となります。この強みを最大限に発信、活用し、より多くの人を呼び込み、「選ばれるまち」・「住み続けたいまち」・新たな亀岡市の実現につなげてまいります。

たいと考えております。昨年、パラグライダーで亀岡の空を飛ぶ機会がありました。紙面の写真はその時のものです。眼下に広がる亀岡盆地を眺めながら、私たちが生きる大地の美しさをいつまでも守り、未来へ引き継いでいきたいとあらためて思いました。このようなふるさと亀岡の素晴らしさを広め、そして「市民力で未来を拓く!」を市政推進の柱として、市民の皆さまと語り合い手携え、亀岡の新時代を全力で築いてまいりたいと思います。本年も変わらぬ御支援と御協力をお願い申し上げます。

新しい年の幕開けにあたり、皆さまのますますの御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。